

同種施設比較分析表(コミュニティセンター)

1 各施設の情報

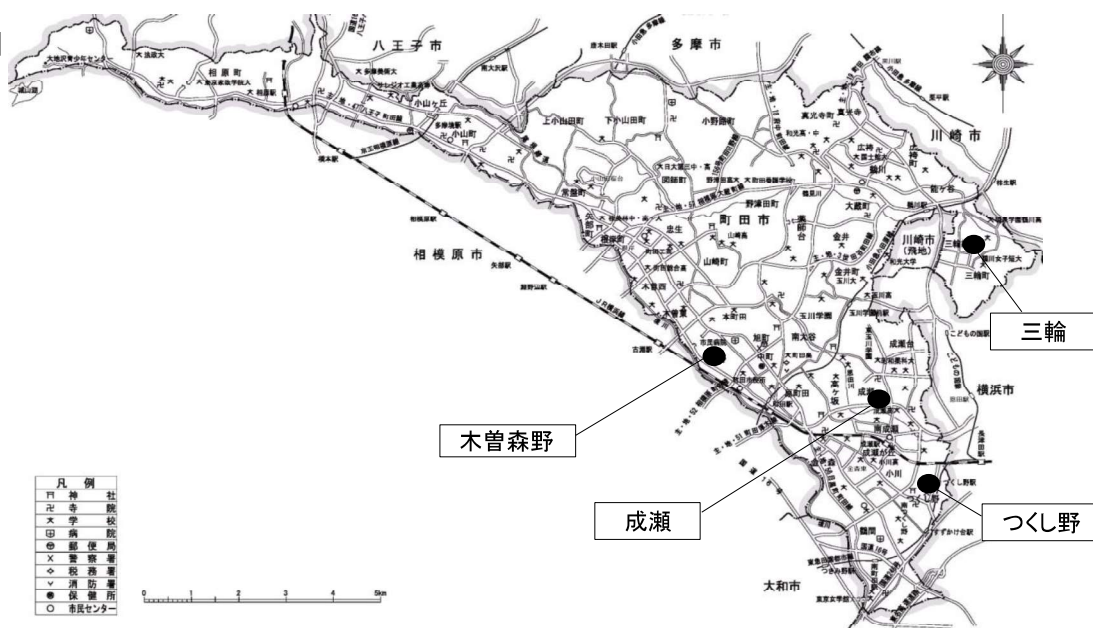
	成瀬	木曾森野 ^{※1}	三輪 ^{※2}	つくし野	
基本情報	該当ページ	336	338	340	342
	建設年月日	1987年12月16日 2016年5月20日	-	2002年3月28日	1982年8月1日
	有形固定資産減価償却率	37.9%	-	41.2%	55.6%
行政費用(千円)	人件費	8,169	5,772	8,597	5,529
	物件費	22,068	13,603	17,456	14,033
	うち委託料	15,927	9,991	11,331	10,165
	うち光熱水費	5,440	3,135	5,528	3,291
	維持補修費	1,284	161	353	1,092
	補助費等	0	0	0	0
	減価償却費	59,125		4,948	11,545
	賞与・退職手当引当金繰入額	489	697	493	818
	行政費用合計	91,135	20,233	31,847	33,017
単位あたりコスト分析	延床面積(m ²)	1,850	1,000	1,190	1,003
	1m ² あたりコスト(円)	49,262	20,233	26,762	32,918
	利用総人数(人)	67,595	29,440	20,876	27,709
	利用者1人あたりコスト(円)	1,348	687	1,526	1,192
	開館日数(日)	347	347	347	347
	開館1日あたりコスト(円)	262,637	58,308	91,778	95,150

※1 東京都から無償で借りて運営している木曾森野については、減価償却費を計上していません。

※2 複合施設については、減価償却費を面積按分して算出しています。

	三輪
建物・工作物減価償却費(千円)	6,191
複合施設全体面積(m ²)	1,488
コミュニティセンター面積(m ²)	1,190
按分減価償却費(千円)	4,948

2 施設配置図

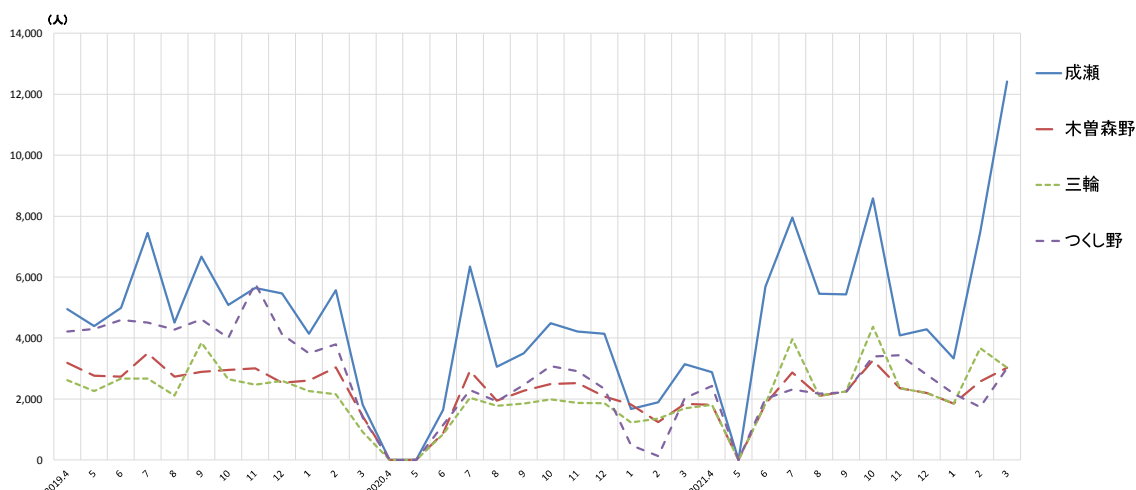


3 事業の成果の月次推移

各施設利用人数

(単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
		2019年度	成瀬	4,952	4,395	4,987	7,449	4,511	6,670	5,089	5,642	5,467	4,142	5,565
	木曾森野	3,182	2,767	2,736	3,498	2,736	2,893	2,954	3,008	2,537	2,609	3,040	1,432	33,392
	三輪	2,620	2,259	2,671	2,672	2,114	3,851	2,645	2,470	2,596	2,263	2,150	916	29,227
	つくし野	4,211	4,299	4,595	4,510	4,279	4,619	4,000	5,789	4,121	3,496	3,796	1,391	49,106
	計	14,965	13,720	14,989	18,129	13,640	18,033	14,688	16,909	14,721	12,510	14,551	5,545	172,400
2020年度	成瀬	0	0	1,647	6,350	3,062	3,496	4,481	4,211	4,140	1,672	1,900	3,141	34,100
	木曾森野	0	0	873	2,926	1,948	2,271	2,488	2,519	2,084	1,817	1,243	1,841	20,010
	三輪	0	0	846	2,041	1,775	1,853	1,989	1,876	1,863	1,234	1,360	1,693	16,530
	つくし野	0	0	1,150	2,297	1,927	2,462	3,079	2,915	2,330	486	135	2,031	18,812
	計	0	0	4,516	13,614	8,712	10,082	12,037	11,521	10,417	5,209	4,638	8,706	89,452
2021年度	成瀬	2,886	0	5,684	7,951	5,459	5,434	8,586	4,088	4,289	3,338	7,467	12,413	67,595
	木曾森野	1,807	0	1,845	3,965	2,102	2,248	4,374	2,355	2,193	1,850	3,673	3,028	29,440
	三輪	1,452	0	2,215	1,917	1,645	1,894	2,102	1,907	2,205	1,682	1,591	2,266	20,876
	つくし野	2,429	0	2,013	2,309	2,184	2,218	3,389	3,436	2,793	2,182	1,736	3,020	27,709
	計	8,574	0	11,757	16,142	11,390	11,794	18,451	11,786	11,480	9,052	14,467	20,727	145,620
2021年度 対前年度 比率	成瀬	皆増	0.0%	345.1%	125.2%	178.3%	155.4%	191.6%	97.1%	103.6%	199.6%	393.0%	395.2%	198.2%
	木曾森野	皆増	0.0%	211.3%	135.5%	107.9%	99.0%	175.8%	93.5%	105.2%	101.8%	295.5%	164.5%	147.1%
	三輪	皆増	0.0%	261.8%	93.9%	92.7%	102.2%	105.7%	101.7%	118.4%	136.3%	117.0%	133.8%	126.3%
	つくし野	皆増	0.0%	175.0%	100.5%	113.3%	90.1%	110.1%	117.9%	119.9%	449.0%	1285.9%	148.7%	147.3%
	計	皆増	0.0%	260.3%	118.6%	130.7%	117.0%	153.3%	102.3%	110.2%	173.8%	311.9%	238.1%	162.8%



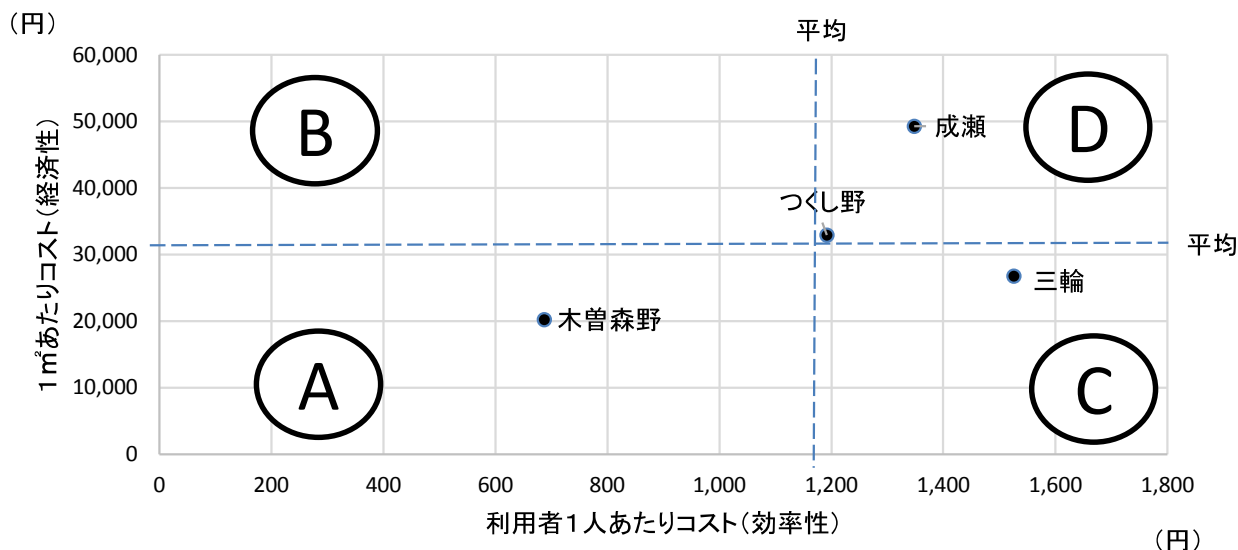
4 事業の成果の月次推移の分析

- ①2021年5月は利用人数が皆減となっています。これは、緊急事態宣言発出により、施設利用を中止したためです。
- ②2020年度に比べ成瀬、木曾森野、三輪、つくし野のすべてのセンターで利用人数が増加しました。これは新型コロナウイルスのワクチン接種が進んだことや、マスクの着用、施設利用時の消毒、十分な換気などの必要な対策を講じて安全に施設貸出を行った結果だと考えられます。
- ③成瀬が2020年度に比べて2倍近く利用人数が増加しているのは、上記の理由に加えて2021年6月から8月、2022年2月から3月に新型コロナウイルスワクチンの接種会場となったためです。
- ④成瀬と森野は、2021年7月、10月、2022年2月は利用人数が大きく増加していますが、これは選挙の当日投票の会場となったためです。

5 2020年度決算で掲げた施設マネジメント改善のための取り組み

- ・施設貸出の時間帯区分として、午前、午後、夜間としていますが、すべての施設において、夜間帯の利用率が低い状況です。そのため、夜間利用が見込める若年層に向けて積極的な周知活動を行い、新規の利用につながるよう努めます。
- ・施設の適切な維持管理のために、計画的に修繕を実施します。
- ・施設を安心して利用していただけるよう、今後も新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策を徹底します。

6 効率性・経済性を軸にした分析グラフ



7 分析欄

① 物件費の特徴について

Dの特徴:成瀬は、小学校跡地を活用して建設し、敷地面積5,805㎡、延床面積1,850㎡と他施設よりも広く、部屋数も多くなっています。そのため、施設を維持管理するために必要となる警備や清掃に係る委託料、光熱水費等が、他施設と比べて高くなっています。

② 施設規模の特徴について

Aの特徴:木曾森野は、東京都が建物を所有しているため減価償却費はありません。そのため、1㎡あたりコスト、利用者1人あたりコスト、開館1日あたりコストが最も低くなっています。

Dの特徴:成瀬は、物件費及び減価償却費が高いため、1㎡あたりコスト、開館1日あたりコストが最も高くなっています。

③ 利用者数の特徴について

Cの特徴:三輪は、最寄り駅からバス利用が必要で、駐車場の台数も少ないため、近隣にお住まいの方以外の利用が少ない状況です。

Dの特徴:成瀬は、リニューアルオープン後6年が経過していますが、施設が新しく、部屋数や駐車場の台数が多いため、近隣にお住まいの方以外の利用も多い状況です。また、新型コロナウイルスワクチン接種会場として使用されたため、利用総人数が多くなっています。

8 施設マネジメント改善のための今後の取り組み

- ・施設貸出の時間帯区分として、午前、午後、夜間としていますが、すべての施設において夜間帯の利用率が低い状況です。施設利用率向上のため、夜間利用が見込める若年層や働き世代に向けて積極的な周知活動を行い、新規の利用につながるよう努めます。
- ・すべての施設においてホールは80%以上の利用率がありますが、和室等のいくつかの部屋では利用率が50%未満となっています。利用率が低い部屋については、予約がとりやすい部屋として積極的に周知を行うなど、新規の利用につながるよう努めます。
- ・施設の適切な維持管理のために、計画的に修繕を実施します。

同種施設比較分析表(連絡所)

1 各施設の情報

		町田駅前 ^{※1}	木曽山崎 ^{※2}	玉川学園駅前	鶴川駅前 ^{※2}	南町田駅前 ^{※1}
基本情報	該当ページ	352	354	356	362	366
	建設年月日	1998年4月7日	1982年8月17日	2021年4月9日	2012年9月29日	2017年3月1日
	有形固定資産減価償却率	-	67.8%	0.1%	-	-
行政費用(千円)	人件費	45,741	31,949	27,887	37,650	29,825
	物件費	18,527	18,726	20,948	1,789	13,171
	うち委託料	62	14,221	12,002	982	1,333
	うち光熱水費	581	2,918	3,294	184	1,149
	維持補修費	0	2,303	1,312	0	0
	補助費等	0	0	0	0	0
	減価償却費	-	11,944	0	971	-
	賞与・退職手当引当金繰入額	5,904	3,359	4,453	5,227	7,606
行政費用合計	70,172	68,281	54,600	45,637	50,602	
単位あたりコスト分析	延床面積(m ²)	109	1,611	1,715	67	121
	1m ² あたりコスト(円)	643,780	42,384	31,837	681,149	418,198
	取扱総件数(件) ^{※3}	58,210	16,740	27,810	27,259	40,418
	取扱件数1件あたりコスト(円)	1,205	2,035	628	1,674	1,252
	利用総人数(人) ^{※4}	-	48,120	35,716	-	-
	利用者1人あたりコスト(円)	-	711	1,040	-	-
	開館日数(日)	343	342	335	323	343
	開館1日あたりコスト(円)	204,583	199,652	162,985	141,291	147,528

※1 町田駅前、南町田駅前は、賃貸建物のため減価償却費を計上していません。

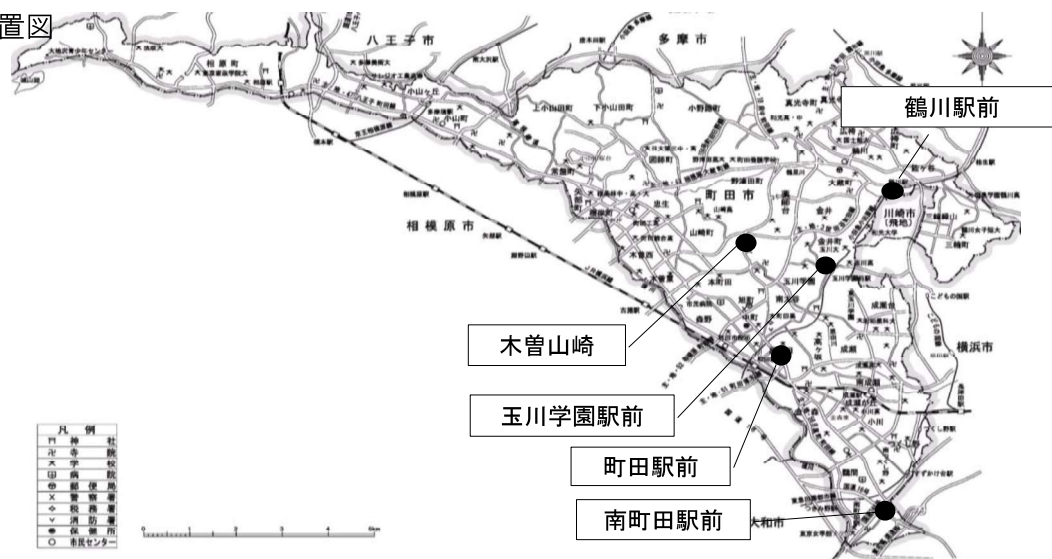
※2 複合施設については、減価償却費を面積按分して算出しています。

	木曽山崎	鶴川駅前
建物減価償却費(千円)	15,607	86,684
複合施設全体面積(m ²)	2,105	5,979
連絡所面積(m ²)	1,611	67
按分減価償却費(千円)	11,944	971

※3 証明書交付、各種申請受付等の行政窓口取扱件数

※4 ホール・会議室等の施設利用人数

2 施設配置図

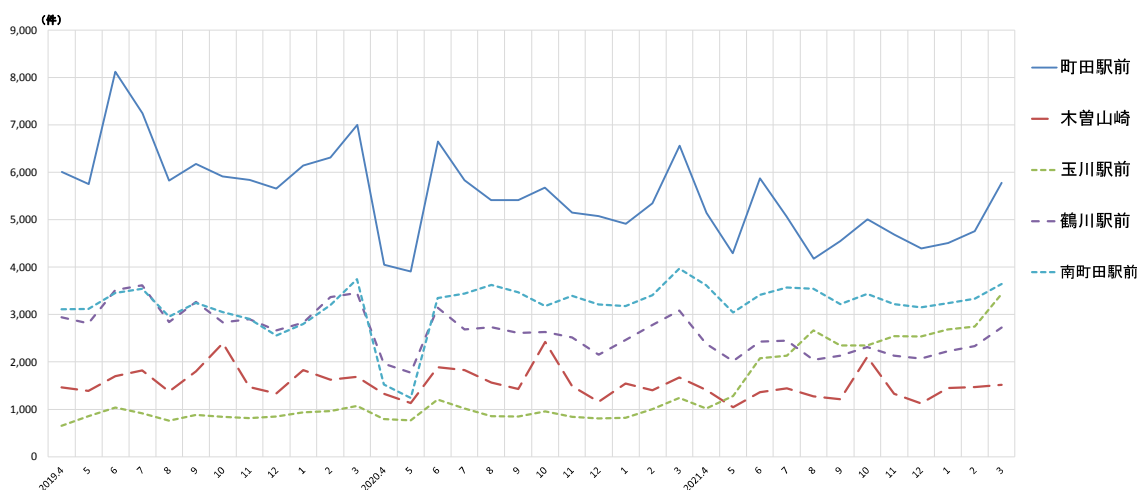


3 事業の成果の月次推移

行政窓口取扱件数

(単位:件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
2019 年度	町田駅前	6,003	5,751	8,120	7,244	5,824	6,177	5,909	5,835	5,654	6,143	6,310	6,998	75,968
	木曾山崎	1,460	1,387	1,699	1,820	1,374	1,800	2,397	1,469	1,332	1,830	1,623	1,687	19,878
	玉川駅前	654	855	1,040	917	762	885	839	817	850	934	964	1,069	10,586
	鶴川駅前	2,941	2,815	3,513	3,617	2,839	3,269	2,835	2,899	2,663	2,827	3,365	3,453	37,036
	南町田駅前	3,114	3,117	3,456	3,543	2,955	3,242	3,051	2,907	2,558	2,799	3,201	3,747	37,690
	計	14,172	13,925	17,828	17,141	13,754	15,373	15,031	13,927	13,057	14,533	15,463	16,954	181,158
2020 年度	町田駅前	4,051	3,907	6,645	5,832	5,413	5,414	5,676	5,147	5,075	4,911	5,343	6,559	63,973
	木曾山崎	1,326	1,129	1,890	1,826	1,561	1,429	2,420	1,489	1,160	1,545	1,402	1,674	18,851
	玉川駅前	793	768	1,205	1,018	852	851	954	846	811	819	1,003	1,241	11,161
	鶴川駅前	1,958	1,771	3,142	2,685	2,730	2,611	2,633	2,516	2,149	2,461	2,781	3,084	30,521
	南町田駅前	1,521	1,241	3,349	3,441	3,621	3,465	3,177	3,393	3,208	3,176	3,409	3,968	36,969
	計	9,649	8,816	16,231	14,802	14,177	13,770	14,860	13,391	12,403	12,912	13,938	16,526	161,475
2021 年度	町田駅前	5,140	4,292	5,869	5,065	4,180	4,548	5,005	4,681	4,390	4,509	4,756	5,775	58,210
	木曾山崎	1,412	1,046	1,360	1,440	1,272	1,213	2,106	1,328	1,123	1,453	1,471	1,516	16,740
	玉川駅前	1,017	1,278	2,076	2,131	2,666	2,349	2,349	2,542	2,538	2,686	2,745	3,433	27,810
	鶴川駅前	2,385	2,019	2,429	2,447	2,045	2,133	2,316	2,129	2,071	2,225	2,332	2,728	27,259
	南町田駅前	3,617	3,040	3,415	3,568	3,546	3,216	3,437	3,219	3,151	3,235	3,330	3,644	40,418
	計	13,571	11,675	15,149	14,651	13,709	13,459	15,213	13,899	13,273	14,108	14,634	17,096	170,437
2021 年度 対前年度 比率	町田駅前	126.9%	109.9%	88.3%	86.8%	77.2%	84.0%	88.2%	90.9%	86.5%	91.8%	89.0%	88.0%	91.0%
	木曾山崎	106.5%	92.6%	72.0%	78.9%	81.5%	84.9%	87.0%	89.2%	96.8%	94.0%	104.9%	90.6%	88.8%
	玉川駅前	128.2%	166.4%	172.3%	209.3%	312.9%	276.0%	246.2%	300.5%	312.9%	328.0%	273.7%	276.6%	249.2%
	鶴川駅前	121.8%	114.0%	77.3%	91.1%	74.9%	81.7%	88.0%	84.6%	96.4%	90.4%	83.9%	88.5%	89.3%
	南町田駅前	237.8%	245.0%	102.0%	103.7%	97.9%	92.8%	108.2%	94.9%	98.2%	101.9%	97.7%	91.8%	109.3%
	計	140.6%	132.4%	93.3%	99.0%	96.7%	97.7%	102.4%	103.8%	107.0%	109.3%	105.0%	103.4%	105.6%



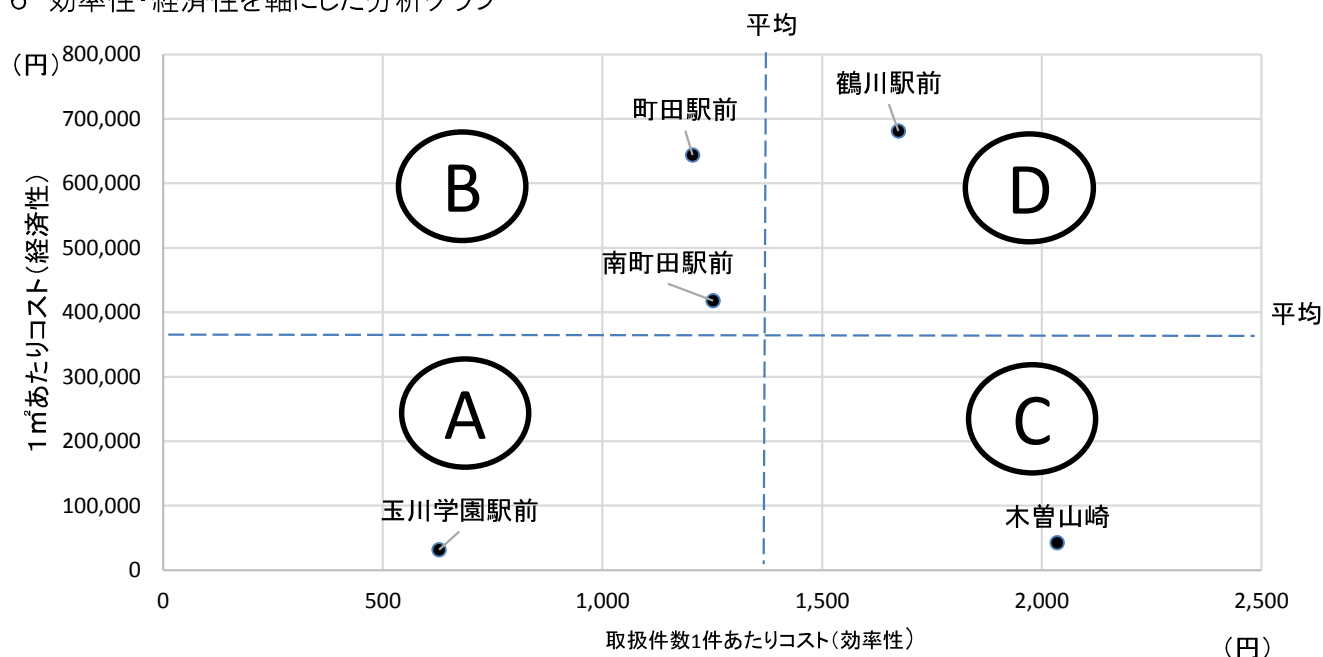
4 事業の成果の月次推移の分析

- ①例年、3月は住所異動等の増加、6月は税務証明書の年度切替、9月・10月はシルバーパスの申請やUR都市機構入居者の減額措置の申請により、証明書交付件数が増加するため、行政窓口取扱件数が多くなっています。
- ②玉川学園駅前連絡所は、2021年5月の施設リニューアルオープン後は、児童図書室の利用者や市立図書館資料の貸出利用が順調に増え、リニューアル前の行政窓口取扱件数と比べて約2.6倍に増加しています。

5 2020年度決算で掲げた施設マネジメント改善のための取り組み

- ・マイナンバー制度による情報連携やコンビニ交付の増加などにより、今後は更に証明書の交付件数が減少すると考えられるため、証明書交付に特化した窓口機能の見直しを検討する必要があります。
- ・老朽化が進んでいる木曾山崎連絡所は安全・安心な施設を維持するために、引き続き計画的な維持補修及び改修を行います。
- ・玉川学園駅前連絡所は、2021年5月にコミュニティセンターが開所しました。来所者の動線に配慮したフロア環境の整備、広報活動による施設利用の促進に努めます。
- ・施設に安心して来所いただけるよう、今後も新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策を徹底します。

6 効率性・経済性を軸にした分析グラフ



7 分析欄

①人件費の特徴について

全体の特徴: 平日の夜間や土日でも開所している町田駅前連絡所、鶴川駅前連絡所、南町田駅前連絡所と比べると、玉川学園駅前連絡所及び木曾山崎連絡所は、職員の配置人員が少なくなっています。

Bの特徴: 町田駅前連絡所は、市内で最も乗降者が多い町田駅前という利便性の高い立地であること、平日の夜間や土日でも開所していることから、配置されている人員が他の連絡所に比べて多いため、人件費が高くなっています。

②施設規模の特徴について

A・Cの特徴: 玉川学園駅前連絡所、木曾山崎連絡所は、行政窓口業務のほかに施設貸出業務を行っているため、施設規模が大きく1㎡あたりのコストは低くなっています。

Dの特徴: 鶴川駅前連絡所は、延床面積が他の施設に比べて狭く、1㎡あたりのコストが高くなっています。

③行政窓口取扱件数、施設利用者数の特徴について

全体の特徴: マイナンバー制度による情報連携により証明書が不要になったことや、コンビニ交付の増加により、窓口での証明書交付件数は減少しています。

Aの特徴: 玉川学園駅前連絡所は、行政窓口業務、施設貸出業務のほかに児童図書室の運営や新たに市立図書館の貸出業務を行っています。中でも、児童図書室や市立図書館の利用者数が増加したため、行政窓口取扱件数の1件あたりのコストは最も低くなっています。

Cの特徴: 木曾山崎連絡所は駅から遠方のため他の連絡所と比べて証明書交付件数が少なくなっています。一方、施設の老朽化による維持補修費や減価償却費が単位あたりコストに大きく影響しています。

8 施設マネジメント改善のための今後の取り組み

- ・マイナンバー制度による情報連携やコンビニ交付の増加などにより、今後は更に証明書の交付件数が減少すると考えられるため、証明書交付に特化した窓口機能の見直しを検討する必要があります。
- ・老朽化が進んでいる木曾山崎連絡所は、安全・安心な施設を維持するために、引き続き計画的な維持補修及び改修を行います。
- ・施設に安心して来所いただけるよう、今後も新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策を徹底します。

同種施設比較分析表(ふれあい館)

1 各施設の情報

		もみじ館 (金森)	いちよう館 (鶴川)	もっこく館 ^{※1} (町田)	くぬぎ館 ^{※1} (木曽山崎)	けやき館 ^{※1} (堺)	桜館 ^{※2} (小山田)
基本情報	該当ページ	228	230	232	234	236	238
	建設年月日	1975年2月28日	1978年1月5日	1989年3月22日	1982年10月13日	1983年3月31日	1994年3月17日
	有形固定資産減価償却率	76.9%	59.8%	-	-	-	53.7%
行政費用(千円)	人件費	13,440	14,837	15,555	16,607	15,388	1,449
	物件費	6,937	8,899	7,278	6,562	3,455	33,908
	うち委託料	4,969	6,212	4,771	4,402	2,329	33,776
	うち光熱水費	1,228	1,403	2,031	891	713	0
	指定管理委託料 うち光熱水費 ^{※3}						4,322
	指定管理委託料 うち人件費 ^{※3}						13,820
	維持補修費	915	439	221	703	36	0
	補助費等	90	64	78	26	64	0
	減価償却費	2,422	6,590	4,494	3,659	5,162	15,528
	賞与・退職手当引当金繰入額	228	209	117	49	510	37
行政費用合計	24,032	31,038	27,743	27,606	24,615	50,922	
単位あたりコスト分析	延床面積(m ²)	581	720	826	493	359	1,074
	1m ² あたりコスト(円)	41,363	43,108	33,587	55,996	68,565	47,413
	利用総人数(人)	6,137	7,208	3,797	8,570	4,023	7,142
	利用者1人あたりコスト(円)	3,916	4,306	7,307	3,221	6,119	7,130
	開館日数(日)	116	131	131	131	131	131
	開館1日あたりコスト(円)	207,172	236,931	211,779	210,733	187,901	388,718

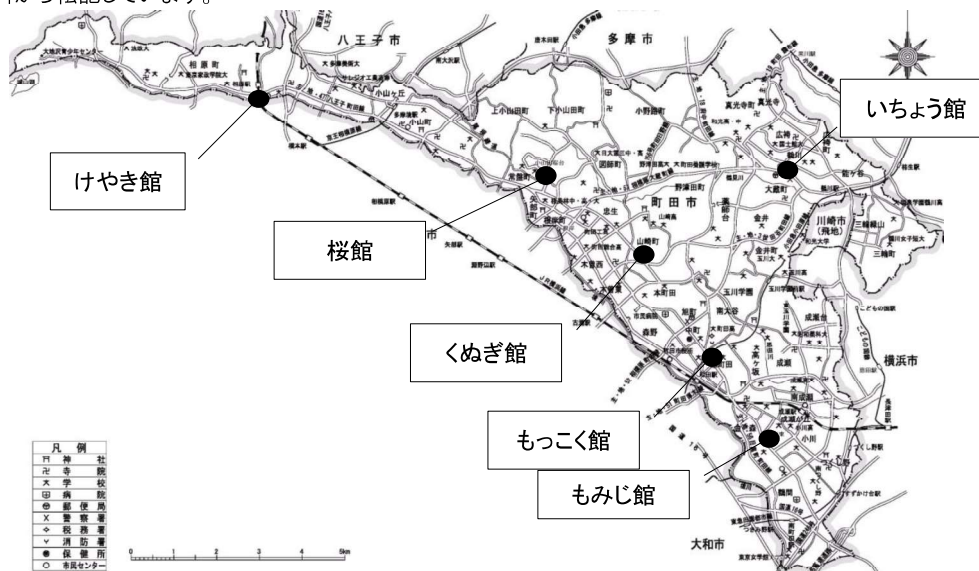
※1 複合施設については減価償却費を面積按分して算出しています。

	もっこく館	くぬぎ館	けやき館	桜館
建物減価償却費(千円)	24,105	15,607	41,125	40,830
複合施設全体面積(m ²)	4,429	2,105	2,863	2,824
ふれあい館面積(m ²)	826	493	359	1,074
按分減価償却費(千円)	4,494	3,659	5,162	15,528

※2 桜館については、デイサービス(1F)等に係る減価償却費を面積按分で控除し、老人福祉センター(2F)分のみを算出しています。

※3 受託法人の決算資料から転記しています。

2 施設配置図

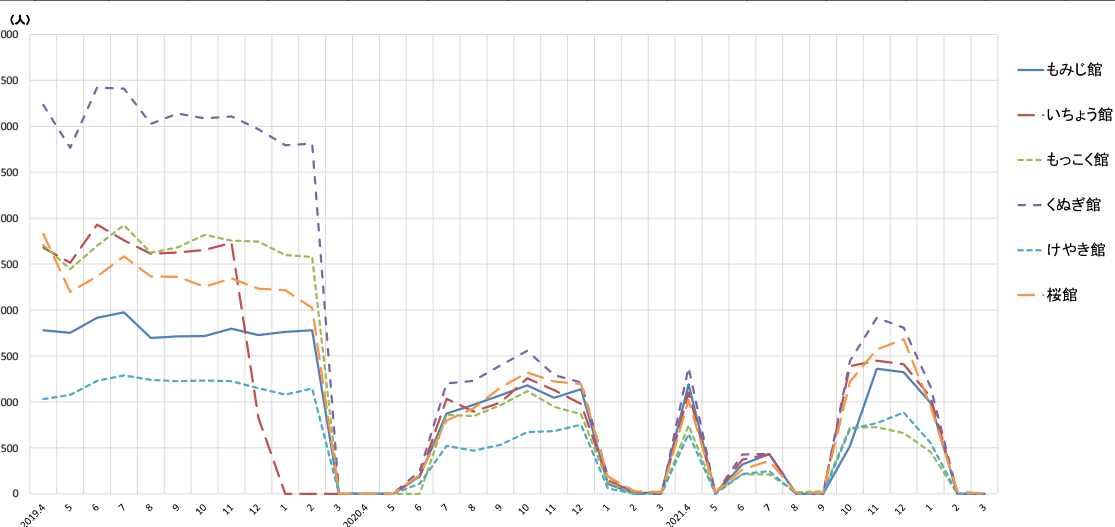


3 事業の成果の月次推移

各施設利用人数

(単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
2019年度	もみじ館	1,779	1,750	1,917	1,975	1,698	1,712	1,717	1,796	1,728	1,763	1,780	0	19,615
	いちよう館	2,679	2,514	2,928	2,757	2,611	2,627	2,653	2,732	827	0	0	0	22,328
	もっこく館	2,708	2,447	2,699	2,922	2,624	2,682	2,819	2,756	2,743	2,599	2,579	0	29,578
	くぬぎ館	4,233	3,767	4,419	4,411	4,026	4,139	4,086	4,106	3,969	3,793	3,812	0	44,761
	けやき館	1,031	1,077	1,228	1,289	1,239	1,226	1,231	1,226	1,149	1,080	1,146	0	12,922
	桜館	2,827	2,198	2,366	2,585	2,366	2,361	2,253	2,343	2,231	2,217	2,022	0	25,769
	計	15,257	13,753	15,557	15,939	14,564	14,747	14,759	14,959	12,647	11,452	11,339	0	154,973
2020年度	もみじ館	0	0	190	874	967	1,072	1,180	1,044	1,140	107	0	25	6,599
	いちよう館	0	0	187	1,032	893	992	1,258	1,126	978	144	12	9	6,631
	もっこく館	0	0	0	859	846	965	1,116	949	868	124	0	0	5,727
	くぬぎ館	0	0	248	1,200	1,228	1,397	1,556	1,292	1,211	187	0	0	8,319
	けやき館	0	0	109	521	471	534	673	681	753	58	0	9	3,809
	桜館	0	0	206	797	929	1,156	1,320	1,221	1,193	190	29	22	7,063
	計	0	0	940	5,283	5,334	6,116	7,103	6,313	6,143	810	41	65	38,148
2021年度	もみじ館	1,192	0	321	431	0	0	518	1,362	1,323	990	0	0	6,137
	いちよう館	1,103	0	372	432	0	0	1,391	1,449	1,409	1,052	0	0	7,208
	もっこく館	745	22	213	212	15	29	719	723	663	456	0	0	3,797
	くぬぎ館	1,377	0	428	436	0	0	1,445	1,915	1,807	1,162	0	0	8,570
	けやき館	651	0	216	248	0	0	702	770	883	553	0	0	4,023
	桜館	1,021	19	264	357	14	13	1,219	1,570	1,682	955	24	4	7,142
	計	6,089	41	1,814	2,116	29	42	5,994	7,789	7,767	5,168	24	4	36,877
2021年度 対前年度 比率	もみじ館	皆増	0.0%	168.9%	49.3%	0.0%	0.0%	43.9%	130.5%	116.1%	925.2%	0.0%	皆減	93.0%
	いちよう館	皆増	0.0%	198.9%	41.9%	0.0%	0.0%	110.6%	128.7%	144.1%	730.6%	皆減	皆減	108.7%
	もっこく館	皆増	皆増	皆増	24.7%	1.8%	3.0%	64.4%	76.2%	76.4%	367.7%	0.0%	0.0%	66.3%
	くぬぎ館	皆増	0.0%	172.6%	36.3%	0.0%	0.0%	92.9%	148.2%	149.2%	621.4%	0.0%	0.0%	103.0%
	けやき館	皆増	0.0%	198.2%	47.6%	0.0%	0.0%	104.3%	113.1%	117.3%	953.4%	0.0%	皆減	105.6%
	桜館	皆増	皆増	128.2%	44.8%	1.5%	1.1%	92.3%	128.6%	141.0%	502.6%	82.8%	18.2%	101.1%
	計	皆増	皆増	193.0%	40.1%	0.5%	0.7%	84.4%	123.4%	126.4%	638.0%	58.5%	0.0%	96.7%



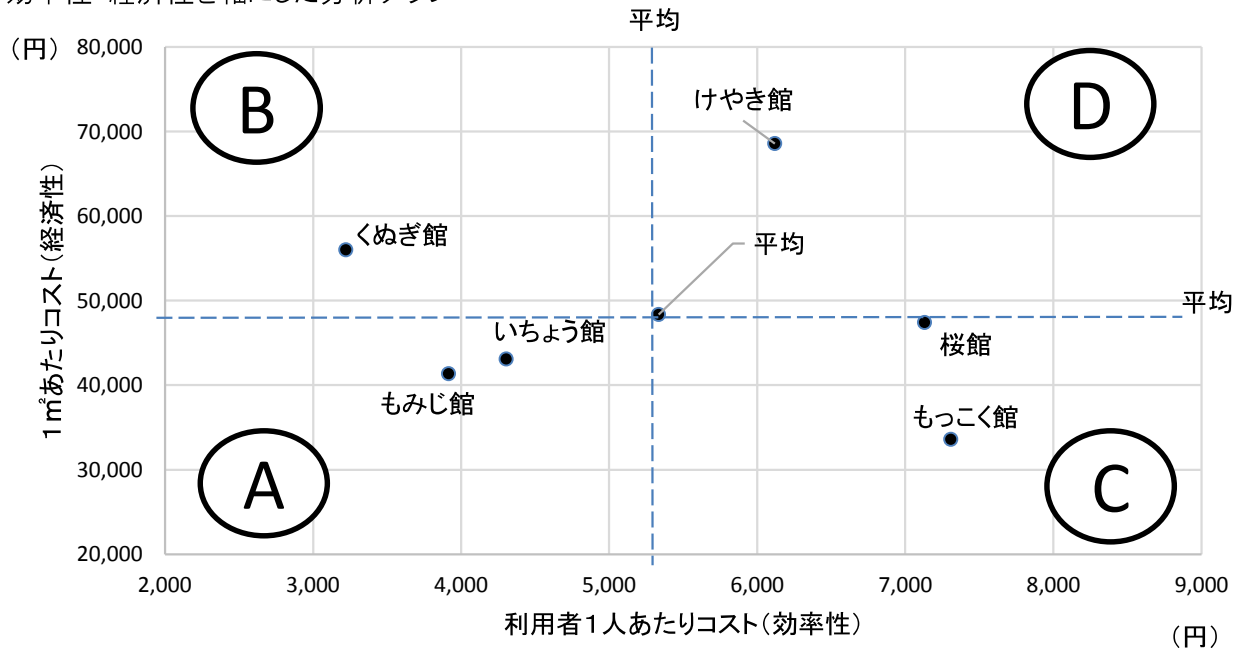
4 事業の成果の月次推移の分析

- ①新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、緊急事態宣言等の期間休館しました。
- ②2021年度は、2020年度中止していたカラオケ等のサービスについて感染予防を徹底のうえ再開しました。
- ③2020年度との利用人数比較では、いちよう館、くぬぎ館、けやき館、桜館の4館で増加しました。

5 2020年度決算で掲げた施設マネジメント改善のための取り組み

- ・ふれあい館に求められる機能やサービス等、ふれあい館の今後のあり方を検討する「ふれあい館のあり方検討」を実施します。
- ・全てのふれあい館において利用者1人あたりコストが増加傾向にあるため、「ふれあい館のあり方検討」の中で、ふれあい館全体として、効果的、効率的な事業運営への検討を行います。
- ・「6 効率性・経済性を軸にした分析グラフ」におけるコストについては、ふれあい館間の比較だけでなく、近隣自治体の同種施設との比較も行い、適正なコストを検討していく必要があります。

6 効率性・経済性を軸にした分析グラフ



7 分析欄

①行政費用の特徴について

- ・桜館を除く5館では、人件費が行政費用の多くの割合を占めています。5館の行政費用に対する人件費の割合は平均で56.5%です。
- ・桜館のみ指定管理者制度を導入しています。このため桜館の行政費用は物件費の割合が一番多く、66%を占めています。

②1㎡あたりコストの特徴について

- ・1㎡あたりコストの平均は48,339円です。2020年度決算時は52,877円だったため、4,538円減少しました。
- ・事業内容の見直しや、会計年度任用職員の導入により行政費用が減少したため、1㎡あたりコストも減少しています。
- ・けやき館及びくぬぎ館は他館と比較し延べ床面積が小さいため、1㎡あたりコストが大きくなっています。

③利用者1人あたりコストの特徴について

- ・利用者1人あたりコストの平均は5,333円です。2020年度決算時は5,350円だったため、17円減少しました。
- ・2020年度と比較し、ふれあい館全体の行政費用が減少した結果、利用者1人あたりコストが減少しました。

8 施設マネジメント改善のための今後の取り組み

- ・2022年度に「ふれあい館のあり方検討」を実施します。2020年度に導入した来館者システムから、来館者の年齢層・一人当たりのふれあい館利用回数等の情報を分析し、検討の際に活用します。
- ・ふれあい館の効果的、効率的な事業運営へのためには、「6 効率性・経済性を軸にした分析グラフ」において、A区分に近づく必要があります。
- ・近隣自治体の同種施設との効率性・経済性の比較をすることで、ふれあい館運営に適切なコストを検討していく必要があります。

